

漢方製剤等における副作用について

1. 医療用漢方製剤、一般用漢方・生薬製剤の使用について

医療用漢方製剤、一般用漢方・生薬製剤を含め全ての医薬品には副作用のリスクは存在します。

- ・医師は病名や適応症を基に治療を決定し、添付文書に基づいて投薬を行います。
 - ・添付文書には、証（体質・症状）を考慮して使用すべき点を記載しています。
- 服用に際しては、医師、薬剤師、登録販売者の指示・指導に基づき、適切にご服用いただくことが重要です。

2. 副作用情報に対する取り組み

漢方製剤等の副作用について、日本漢方生薬製剤協会の会員会社は、国の定めに基づき厚生労働省ならびに医薬品医療機器総合機構に報告のうえ、必要に応じた添付文書の改訂や緊急安全性情報の配布等を通じて、医療機関、薬店・ドラッグストアに情報提供を行っています。

3. 適正使用の推進に向けた取り組み

日本漢方生薬製剤協会の会員会社では、漢方製剤等の適正使用を推進するために、次の資料を取りまとめています。

- ・漢方薬による腸間膜静脈硬化症に関する適正使用情報資料
 - ・漢方服薬指導 Q&A VOL.1、VOL.2
 - ・『肥満症に漢方薬—正しく使っていますか？ 防風通聖散製剤』
 - ・医療用・一般用漢方製剤「防風通聖散」を肥満症に投与するときの留意点
 - ・カンゾウ(甘草)含有医療用漢方製剤による低カリウム血症の防止と治療法
- これらの資料は、日本漢方生薬製剤協会のホームページにも公開されています。
(日漢協トップページ>>お問い合わせコーナー >>漢方薬の服用に際して)

http://www.nikkankyo.org/qa/take_kampo.html

日本漢方生薬製剤協会の会員会社は、漢方製剤等に関する副作用報告等の収集・評価を適切に行い、適正使用の推進に必要な情報提供を積極的に行うなど、今後とも、漢方製剤等の安全対策について万全を期してまいります。

日本漢方生薬製剤協会：66社（五十音順）

アスゲン製薬株式会社	甘利香辛食品株式会社	アルプス薬品工業株式会社
イスクラ産業株式会社	一元製薬株式会社	株式会社ウチダ和漢薬
大草薬品株式会社	大杉製薬株式会社	株式会社太田胃散
大峰堂薬品工業株式会社	株式会社カーヤ	北日本製薬株式会社
救心製薬株式会社	クラシエ薬品株式会社	小太郎漢方製薬株式会社
小西製薬株式会社	小林製薬株式会社	興和株式会社
剂盛堂薬品株式会社	株式会社阪本漢法製薬	佐藤製薬株式会社
三恵製薬株式会社	三宝製薬株式会社	三和生薬株式会社
ジェーピーエス製薬株式会社	新生薬品工業株式会社	新日本製薬株式会社
有限会社杉原達二商店	ゼリア新薬工業株式会社	全薬工業株式会社
第一三共ヘルスケア株式会社	大晃生薬有限公司	大幸薬品株式会社
太虎精堂製薬株式会社	大正製薬株式会社	TK製薬株式会社
武田コンシューマーヘルスケア株式会社	株式会社建林松鶴堂	株式会社ツムラ
帝國漢方製薬株式会社	陶陶酒製造株式会社	株式会社東洋薬行
株式会社常磐植物化学研究所	株式会社栃本天海堂	長野県生薬株式会社
長野県製薬株式会社	日水製薬株式会社	日東薬品工業株式会社
日本新薬株式会社	日本粉末薬品株式会社	日野薬品株式会社
福田商店	福田龍株式会社	本草製薬株式会社
松浦薬業株式会社	三国株式会社	三星製薬株式会社
メルスモン製薬株式会社	八ッ目製薬株式会社	株式会社ヤマダ薬研
山本漢方製薬株式会社	養命酒製造株式会社	株式会社龍角散
ロート製薬株式会社	株式会社和漢薬研究所	湧永製薬株式会社